研究課題名	医薬品および食品による亜鉛・リン補充の有用性と安全性の比較
研究期間	実施許可日　～　2028 年　3 月 31 日
研究の対象	2018 年 4 月～2026 年 3 月の間に広島大学病院に入院し、亜鉛、リン補充目的で医薬品もしくは亜鉛・リン含有食品が使用された患者さん
研究の目的・方法	研究目的：食事の摂取が不十分な場合など、リンや亜鉛が低下しやすい病態において、医薬品を用いて補充することがあります。しかし、リンを補充する医薬品はナトリウムを含むため血液中のナトリウム値が上昇する可能性があります。また、亜鉛を補充する医薬品は胃腸障害や銅欠乏等の副作用が起こることがあります。また、食品の中にも、リンや亜鉛が医薬品と同程度含まれている製品があり、不足分の補充として用いられることがあります。この度、リンまたは亜鉛が多く含まれる食品を補充に用いた場合の有用性と安全性を調査します。 　研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを使用し、リンまたは亜鉛が多く含まれる食品を用いた場合と医薬品を用いて補充した場合の検査値や副作用などを比較・検証します。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：診療科、入院病棟、患者プロファイル（性別、身長、体重、年齢）、既往歴、現病歴・治療歴、薬歴、アレルギー・副作用歴、入院・退院時の ADL、認知症/せん妄リスクスコア、薬剤投与状況・投与日数、服薬状況・調剤方法・投与経路、食事・栄養補助食品オーダー歴、食事摂取状況、推定エネルギー必要量、投与カロリー・栄養成分量、一般用医薬品・サプリメント・健康食品摂取状況、入院日数、患者転帰、重症度スコア（SOFA スコア、APACHE Ⅱ スコア）、体外循環機器使用状況、入院後の経過、血液検査結果、バイタル（血圧、脈拍数、体温等）、血糖値、血液ガス検査結果、消化器症状、疼痛評価等
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日
個人情報の保護	情報は研究に使用する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。
外部への試料・情報の提供	ありません
研究組織	本学の研究責任者 　広島大学病院　薬剤部　教授　松尾　裕彰
その他	なし

研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。 広島大学病院　薬剤部 担当者：友田江美 〒734-8551　広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5572